

## 本部町

### 地域学校 協働本部名

本部町地域学校協働本部  
(本部小学校、本部中学校、上本部学園、瀬底小学校、伊豆味小中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

#### 【本部小学校】

- ・平和学習の補助  
地域の戦争体験者による講和を実施した。
- ・朝の登校見守り  
地域の老人会と協力し、登校時の交通安全活動を行った。

#### 【本部中学校】

- ・放課後の体験活動  
放課後の調理くらぶ、手芸くらぶを地域ボランティアが実施した。
- ・朝の登校見守り  
地域の団体(渡久地警防団)と協力し、登校時の交通安全活動を行った。
- ・学校行事の補助  
地域ボランティアが各種健康診断の補助や運動会の着付け係などの役割を担った。

#### 【瀬底小学校】

- ・学習発表会の指導(三線)  
地域ボランティアが三線を指導し、学習発表会で発表することができた。



学習発表会



放課後の体験活動

### ◆工夫していること

地域コーディネーター、放課後子ども教室コーディネーター等で構成するグループLINEを活用した。他校の活動の様子等もタイムリーに共有することができた。

### ◆成果(○)と課題(☆)

○【コ】学習発表会で地域の伝統芸能(三線)を発表した。これをきっかけに指導に携わった地域の方と子ども達との繋がりを築くことができた。子ども達は地域の伝統芸能への関心を高める機会となった。

☆【教委】ボランティアが固定化している。新しいボランティアを発掘するため、周知活動に取り組みたい。

## 恩納村

### 地域学校 協働本部名

恩納村地域学校協働本部  
(うんな中学校、安富祖小学校、恩納小学校、仲泊小学校、山田小学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

#### 【地域との連携】

- ・稲作プロジェクト
- ・習字の先生
- ・お菓子作りサポート
- ・職業人講話
- ・平和講演
- ・サンゴ観察
- ・マナー講座
- ・クリスマスリース&  
みつろうキャンドル作り



#### 【村職員との連携】

- ・環境学習フィールドワーク
- ・平和学習フィールドワーク
- ・まちたんけん
- ・歌碑めぐり
- ・歴史ロード散策
- ・干潟観察
- ・河川生きものの観察
- ・地層見学
- ・役場ロビーでの販売体験活動



### ◆工夫していること

- ・学習に係る活動について、一つの学校の取組を他校にも共有している。
- ・校外学習時のマイクロバス運転手は、学校と連携し保護者を含めて依頼できるようにしている。
- ・教諭から本部への支援依頼について、今年度からweb上の申請フォームを用いて行うようにし、申請状況を随時把握できるようにした。本部から教諭への連絡手段については、メール、電話、FAXなどそれぞれの教諭が連絡を取りやすい方法に合わせて連絡手段を変えている。

### ◆成果(○)と課題(☆)

- 地域のボランティアさんが学校に入れるようになり、これまでの活動から発展した取組ができた。
- 地域の方が関わることで学校に活気が出た。地域とのコミュニケーションをとるいい機会になっている。
- 行政が進めているSDGs活動を推進するために、村職員が学校に関わる機会が多くなっている。
- 楽しく活動している。自分ができることであればいつでも子どもたちのお役に立ちたい。

☆ 新たなボランティア人材の発掘、確保、維持、活動内容の周知・広報

## 読谷村

### 地域学校 協働本部名

読谷中学校地区地域学校協働本部、古堅中学校地区地域学校協働本部

(構成学校) 渡慶次幼稚園、読谷幼稚園、喜名幼稚園、古堅幼稚園、古堅南幼稚園、  
渡慶次小学校、読谷小学校、喜名小学校、古堅小学校、古堅南小学校、読谷中学校、  
古堅中学校

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・平和学習の戦争体験講話
- ・新入学準備(靴箱等のネーム張り等)
- ・ミシン補助
- ・全国学力状況調査データ入力作業
- ・視力、歯科、内科健診の児童整列補助
- ・早下校時の交通安全指導
- ・不登校寄り添い支援
- ・高校に入試に向けた模擬面接等



#### 【土曜教育支援体制等構築事業の取組】

読谷村土曜教育支援体制等構築事業として、  
赤犬子 子ども三線・箏・太鼓クラブを実施

児童生徒の土曜日の居場所づくりを創出しながら、地域の人材による琉球古典音楽並びに琉球民謡の演奏技術の習得を図る。世代を超えた師弟関係から社会性を学び、琉球音楽の世界観を学び習得することで、地域(沖縄県読谷村)への誇りを感じてもらい、地域人材育成を図ることを目的とする。



### ◆工夫していること

- ・ボランティア活動がスムーズに取りかかれるように活動推進員は事前調整に努めている。
- ・ボランティア講座の開催及び事業周知を行い、地域人材の掘り起こしに努めている。
- ・定期的に学校との情報交換等を行い、ニーズの把握とマッチングを学校と連携を図り行っている。

#### 【土曜教育支援体制等構築事業の取組】

読谷村文化協会所属の古典演奏者が講師となり、受講者の技術に応じた指導を実施。三線クラスの場合は、初心者クラスD、中級クラスC、初級地謡養成クラスB、上級地謡養成クラスAに修了年数に応じて分けられる。児童生徒の単純な居場所づくりに留まらず、成果を発表する場(ゴール)を見据えた指導と鍛錬の場所となり、文化村読谷村を下支えする仕組みになっている。

### ◆成果(○)と課題(☆)

- 教師の負担軽減、地域連携による子育て支援への体制の構築が図れている。
- ☆ 関わり合う場所と役割の理解を求める事が必要であり、推進員の人材確保・適正な配置・人員に関しては考える必要がある。

#### 【土曜教育支援体制等構築事業の取組】

○ 今年で50回目を迎える「読谷まつり 受け継ごう読谷(ふるさと)の心」に総勢200名の児童生徒の出演を予定している。また、くるちの杜音楽祭への出演など、日々の練習の成果を披露すると共に地域に愛着を持つ人材育成と伝統文化の継承に寄与している。

☆ 初心者及び低学年へ伝統文化の楽しさをどう分かりやすく指導し、やる気を向上させ維持していくこと。また「続けたい」という思いをもってもらうことが最大の課題である。



## 嘉手納町

### 地域学校 協働本部名

屋良小校区地域学校協働本部、嘉手納小校区地域学校協働本部、嘉手納中学校区地域学校協働本部

### ◆代表的・特徴的な活動

嘉手納中学校  
ミシンボランティア

嘉手納小学校  
読み聞かせボランティア

屋良小学校  
読み聞かせボランティア  
週1回学校訪問



ミシンボランティア(嘉手納中学校)



読み聞かせ(嘉手納小学校)



読み聞かせ、週1回学校訪問(屋良小学校)

### ◆工夫していること

- ・保護者宛に募集を掛け、併用して地域のボランティアへ個別で依頼を行った。
- ・現役世代へテトル(保護者連絡アプリ)を利用し参加呼びかけ。
- ・『読み聞かせ』では、読んだ本が被らないように過去の履歴を共有している。
- ・週1度学校訪問の時間を設定し、先生方が相談しやすい雰囲気づくりを目指している。
- ・なるべく気軽に参加できるような雰囲気作りと声かけをしている。

### ◆成果(○)と課題(☆)

- 現役父母が読み聞かせにチャレンジしている。
- 『読み聞かせ』過去の履歴が確認できることで安心して読み聞かせに参加できたとの声があった。
- スピード依頼、スピード解決
- 年々、協力したいと思っている地域の方が協力しやすい環境になってきている。
- 今年度も毎回20名程度の読み聞かせボランティアの方が参加してくれた。
- 本校に子どもがいない地域の方や卒業生の保護者等OB等のボランティア参加者がとても多かった。
- 大学生のボランティア参加もあった。
- ☆ 現役父母の参加者を増やしたい。
- ☆ ボランティア依頼後の満足度チェックまで行えていない。

## 北谷町

### 地域学校 協働本部名

北谷町地域学校協働本部  
小学校4校  
(北谷小学校、北玉小学校、浜川小学校、北谷第二小学校)  
中学校2校  
(北谷中学校、桑江中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

- 地域未来塾・学習支援、プログラミング教室、サマースクール(中学生、高校生が小学生へ夏休みの宿題の支援)
- 授業補助(習字学習、ミシン、調理実習)
- 授業の通訳サポート(日本語通訳)
- キャリア教育
- 漢字検定試験監督・見守り
- 学習発表会、運動会(青年会によるエイサー指導及び着付け)
- 中学3年生受験に向けて面接指導
- 環境整備支援(花壇の手入れ・水かけ・草刈りなど)
- 読み聞かせ
- 図書館での蔵書点検
- 朝の交通安全見守り
- 自治会活動や公民館まつりボランティアへの参加(準備、運営補助、片付けなど)
- 児童館での絵画教室(中学生が小学生へ指導)
- 歯科・内科検診の見守り



### ◆工夫していること

- ・学校が取り組んでいる夏期講習会(レベルアップの生徒)と地域未来塾サマースクールを合同で行い学ぶ楽しさと教えあう楽しさを体感させる工夫を行った。
- ・町内の中学生や高校生ボランティアに地域未来塾、放課後子ども教室で学習のサポートや児童との交流を行っている。
- ・学校の参観日に読み聞かせの活動を知ってもらおうと保護者向けに読み聞かせをしている。
- ・自治会だより、公民館講座、児童館だよりなど地域の取組やスケジュールのお知らせなどを、校内の掲示板に「自治会コーナー」を設け、情報共有に努めている。同時に自治会、児童館へ学校だよりを配布し、学校行事や児童の活動を紹介している。
- ・放課後活動やボランティア活動の募集チラシなどの周知に学校メールを活用している。

### ◆成果(○)と課題(☆)

- 地域未来塾では、自主学習を支援するスタイルで学習支援員がひとり1人に適した助言・指導を行い、個に応じた学習指導を行うことができた。
- 先生方から地域未来塾での宿題の定着が、授業への取組に繋がっているとの声があった。
- 生徒がボランティアを通して、地域の方々と触れ合うことで、社会貢献、自己肯定感の高まりへと繋がっていった。
- ☆ 読み聞かせの回数が増えるように、周知方法を検討する必要がある。
- ☆ 地域未来塾の生徒の参加人数が安定しない。対応策として三者面談時に利用状況を親子で確認する機会を作る。

## 北中城村

### 地域学校 協働本部名

北中城村地域学校協働本部  
北中城中学校 北中城小学校 島袋小学校

### ◆代表的・特徴的な活動

平和学習講師派遣(北中城中学校)

戦争体験者による講話

キャリア教育支援(北中城中学校)

地域の方による面接指導

教材園の整備、指導(北中城中学校)

特別支援クラスの生徒との活動

ドリームウォールペンキ塗り

児童の夢を書く板へのペンキ塗り作業

読み聞かせ活動

ボランティアサークルによる

家庭科裁縫の補助(北中城小学校)

5年生 玉結び、玉止め、波縫い等

ミシン学習の補助(北中城中学校)

トートバッグ作成の補助

登校時の安全指導(北中城小学校)

PTAで補えない場所等

学習支援(北中城小学校)

必要なクラスへの学習補助

個別学習支援(北中城中学校)

退職教員、学生等の協力

バスの運転(北中城中学校)

生徒の送迎

### ◆工夫していること

- 3人のコーディネーターの協力体制
- 村内各種団体との連携
- ボランティアを依頼しやすい雰囲気づくり
- 担当教員との連絡調整をしっかりと行うこと
- 気持ちよくボランティアしてもらえるようにしっかりと声掛けをする。

### ◆成果(○)と課題(☆)

- 【本部】村内各種団体とのスムーズな連携で活動できた。  
特に平和学習の場面では、文化振興係が大きく関わってくれた。
- 【学校】個別の学習支援で、個々のレベルの指導ができ、学習意欲が向上  
また、個別に支援してもらうことで、職員の負担減にも繋がっている。
- 【学校】役場職員、地域の方による面接指導では、緊張感のある体験ができた。

☆【学校】今年度は地域と連携した活動が今までのようにできない状況もみられる。

## 中城村

### 地域学校 協働本部名

中城中学校地域学校協働本部・中城小学校地域学校協働本部  
津覇小学校地域学校協働本部・中城南小学校地域学校協働本部

### ◆代表的・特徴的な活動

- 中城城跡に関する学習・見学ガイド(中城小・津覇小)
- 平和学習(中城小・津覇小)
- バスの運転手(中城小・津覇小・中城南小)
- 地域散策～地域の伝統や史跡を学ぶ(中城小・津覇小)
- クラブ活動指導(中城小)
- 職業人講話(中城中)
- 高校入試面接体験(中城中)



### ◆工夫していること

- ・2週間に1回、地域コーディネーターと担当課職員でミーティングを行い、各学校の活動状況や課題などを情報共有している。
- ・学校の現状を把握し、学校と支援ボランティアとの調整がスムーズに行えるよう、各学校に地域コーディネーターを1人ずつ配置している。
- ・地域の意見を汲み取るため、地域コーディネーターが定期的に自治会の訪問を実施している。
- ・各地域コーディネーターが各学校の取組を共有しながら、活動の提案を行っている。
- ・年に1回ボランティア支援員と情報交換会を実施し、成果や課題を共有している。

### ◆成果(○)と課題(☆)

○【本部】定期的なミーティングで地域コーディネーターと担当職員が現状や課題を共有することで、課題の改善や調整などをスムーズに行うことができています。また、自治会長と地域の情報を共有し、連携して児童生徒の地域活動への参加や、地域人材の掘り起こしを推進することができています。

○【コ】各学校に1人ずつコーディネーターを配置し、学校の状況や要望をじかに共有することで、学校と地域をつなぐ連携・調整をスムーズに行うことができています。

○【学校】地域人材が支援ボランティアとして学校に関わることで、課外授業やクラブ活動に幅がでるとともに、児童生徒の地域行事への参加も推進されている。

☆より幅広い支援活動のため、地域人材の確保が求められている。



## 西原町

### 地域学校 協働本部名

西原町地域学校協働本部事業  
(坂田小学校、西原小学校、西原東小学校、西原南小学校、西原中学校、西原東中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

#### ◆代表的・特徴的な活動

- ・ニシバル歴史の会による平和学習、歴史教育
- ・朝の読み聞かせ
- ・学校行事支援(避難訓練の交通誘導、運動会演武指導)
- ・企業の高所作業車を借用しての樹木の伐採
- ・環境整備(花壇の手入れなど)
- ・社会福祉協議会による福祉講座
- ・保護者や地域の方によるキャリア教育
- ・町文化協会によるウチナーグチ指導



掲揚旗ロープ取り付け(西原東小学校)



ありがとう集会(西原東小学校)



ミシン補助ボランティア(西原中学校)

### ◆工夫していること

- ・地域コーディネーターの意見交換、情報交換の機会を設けている。
- ・学校、自治会、民生委員、部活動指導員、学童との情報交換
- ・ボランティア活動している方への感謝を伝える機会の提供



職業人講話(西原中学校)

### ◆成果(○)と課題(☆)

#### ○成果

- ・児童の登下校の安全確保ができています。
- ・地域、保護者にボランティア活動が定着しつつある。

#### ☆課題

- ・ボランティアが参加しやすいよう場所の確保が必要
- ・ボランティアの人材が固定化・高齢化が顕著であるため、現役子育て世代など新たな人材の確保が必要である。
- ・専門性を持ったボランティアの人材不足



## 与那原町

### 地域学校 協働本部名

与那原町地域学校協働本部

小学校2校:与那原東小学校、与那原東小学校  
中学校1校:与那原中学校

### ◆代表的・特徴的な活動

代表的な活動

【小学校】

- ・校区探検(施設見学)
- ・パッカー車見学
- ・ミシン指導
- ・福祉講話/福祉体験
- ・平和学習
- ・クラブ活動の指導
- ・園芸ボランティア



車いすの児童も参加できるクラブ活動として、ボッチャを導入

【中学校】

- ・綱曳講話
- ・職業人講話
- ・福祉講話/福祉体験



本町出身で観光大使の喜舎場泉さんを招いての職業人講話

【教職員】

- ・本町に赴任してきた教職員向けの研修

町観光ガイドから、町文化財の説明を受ける教職員たち→



### ◆工夫していること

- ・学校側のニーズを満たすような人材の確保  
職業人講話では、IT関係や実業家、タレント(喜舎場泉さん)などの方々にご協力いただいた。
- ・他市町村の地域コーディネーターさんとの情報交換会を定期的を実施
- ・本町の伝統行事である「与那原大綱曳」継承のため、小学校・中学校で継続した綱曳講話や行事を実施している。

### ◆成果(○)と課題(☆)

○必要な人材の確保及び体験の提供は、おおよそ学校側の要望通りに実施できている。

○地域ボランティアの方たちも定着しており、様々な事業にも協力いただいている。

☆主に活動しているボランティアさんたちが60～70代に集中しているため、比較的若い世代の、新たなボランティア発掘が課題である。

☆学校支援活動の内容が保護者や町民に認知されていないため、今後は様々な媒体(LINE、ホームページなど)での周知が必要である。

## 南風原町

### 地域学校 協働本部名

南風原町地域学校協働活動本部

小学校4校  
(南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校)  
中学校2校  
(南風原中学校、南星中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

- 1 南風原中学校: 2年生キャリア学習では10業種の問題解決に取り組み、ミッションを解決するために職場体験などを行い、総合学習発表会で講師陣に提案した。
- 2 南星中学校: 2年生技術分野のエネルギー変換で町役場防災担当から話を聞き[自然災害で役立つ防災グッズ]を開発した。
- 3 南風原小学校: クラブ活動において、地域の伝統行事[兼城綱曳き]を取り入れ、児童が感心をもって取り組むことができた。
- 4 津嘉山小学校: 合唱クラブでは、地域の声楽家とピアノ講師の方から発声の仕方やリズムのとり方等の専門的な指導を受け合唱や独唱を楽しむ事ができた。
- 5 北丘小学校: 3年生書写の授業で地域の習字教室の先生や保護者が講師となり、習字の基本姿勢やとめ・はね・はらいなど上手に書くコツを学んだ。
- 6 翔南小学校: 地域の偉人[飛び安里]について、翼のレプリカを見ながら飛び安里研究会の方から話を聞き、児童の疑問に答えてもらうことで理解が深まった。



1 南風原中学校



2 南星中学校



3 南風原小学校



4 津嘉山小学校



5 北丘小学校



6 翔南小学校

### ◆工夫していること

- ・年度初めの町内小中学校の教職員と各種団体に対する事業説明
- ・町広報誌掲載、壁新聞発行、事業報告書作成、活動写真展、大学・退職教諭の会へボランティア募集
- ・事務局とコーディネーターの月例ミーティングの開催
- ・オンラインやWebフォームを活用し、打合せ等の簡素化と時間短縮など負担軽減に努めた。
- ・本事業の活用方法と流れをまとめたフローチャートを作成した。

### ◆成果(○)と課題(☆)

- 【学校】地域の優れた人材を確保し、専門的な知識や技術、指導法を教職員が学ぶ貴重な機会になり、授業の資質向上にもなっている。
- 【地域】地域の伝統文化・産業が継続的に授業に取り入れられており、将来の後継者育成を担うことに寄与していることで地域にも喜ばれている。
- 【コ】コーディネーターの人員増により一人一校体制となり、充実した協働活動ができた。
- ☆【コ】授業内容によってはボランティアの高齢化や新たな人材発掘が課題(平和学習、書写指導や教科指導等、複数校で依頼が重なる場合)

## 八重瀬町

### 地域学校 協働本部名

八重瀬町地域学校協働本部  
(東風平中学校、具志頭中学校、東風平小学校、白川小学校、具志頭小学校、新城小学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

#### ●講師の派遣

- ・クラブ活動指導員(東風平小、新城小、具志頭小)
- ・平和学習講話(全小中学校)
- ・職業インタビュー(新城小、東風平中)
- ・総合学習支援(全小学校)
- ・書道指導(東風平小、新城小)
- ・特別支援クラス運動遊び(新城小、具志頭小)
- ・伝統芸能講話(具志頭小、東風平小)
- ・野菜の植えつけ(具志頭小、新城小)

#### ●校外学習の訪問先調整

##### 【小学校】

- ・1年 生活科芋植え、芋ほり(新城小)
- ・2年 生活科まちたんけん(東風平小、白川小、具志頭小)
- ・3年 総合学習(東風平小、新城小)
- ・4年 総合学習(東風平小、新城小)
- ・5年 総合学習(東風平小、白川小)
- ・6年 総合学習(具志頭小、新城小)

##### 【中学校】

- ・自己啓発講話(東風平中2年生)
- ・平和学習(東風平中)
- ・職業インタビュー(東風平中)



野菜の植えつけ講師派遣(新城小学校)



総合学習まちたんけん(白川小学校)

### ◆工夫していること

- ・年に2回(年度始め、夏休み期間)地域連携担当者連絡会を開催し、各学校・各学年の計画をヒアリングして年間計画を作成し活動ベースにしている。
- ・ボランティア依頼の際、学校側から企画書や工程表を提出してもらうことでスムーズな活動に繋がっている。

### ◆成果(○)と課題(☆)

- 【コ】子供達のためならと、地域の企業の方々も協力してくださった。
- 【コ】課題解決型学習を取り入れる学校が増え、教師をはじめ児童生徒が積極的に地域の方々と接する機会が増えた。
- ☆【コ】ボランティアを依頼するにあたって、無償では難しくなっている。  
(物価高騰の為、来ていただくためのガソリン代など)
- ☆【教委】学校からの依頼件数の増加や内容が多岐にわたり、対応に追われている。コーディネーターの確保と依頼の整理が必要である。